

芦安中学校 学校関係者評価書（後期）

平成31年1月23日（水）

学校関係者評価委員会作成

第2回 芦安地区学校関係者評価委員会

実施日：平成31年1月23日（水） 午後7時～8時30分

会場：南アルプス市立芦安小学校 多目的ホール

参加者：学校関係者評価委員

委員長 森本 薫（芦安小中学校PTA会長，学校評議員）

副委員長 名取 大介（芦安小中学校PTA副会長，学校評議員）

委員 深澤 米雄（南アルプス市議会議員，学校評議員）

委員 三井 孝司（芦安窓口サービスセンタ長，学校評議員）

委員 森本 章雄（芦安地区学校応援団代表，学校評議員）

学校職員

（小学校）校長 名取 昭彦，教頭 河野 瑞穂，教務主任 保坂 美紀子

（中学校）校長 石原 敬彦，教頭 辻 純二，教務主任 佐久間和之

1. 学校側から提案された内容

- ①後期の全体的な傾向について
- ②教職員自己評価の結果について
- ③生徒アンケートの結果について
- ④保護者アンケートの結果について
- ⑤今後の学校経営・運営について

2. 協議された主な内容

- ①自己評価の結果について
- ②生徒アンケートについて
- ③保護者アンケートについて
- ④各項目の評価・達成状況・改善策について
- ⑤小中一貫校の取り組みについて

3. 委員からの質問・意見

・回答者数について確認

→保護者については，家庭数ではなく生徒数でアンケートをお願いしている。

・評価項目は学校独自かどうか

→学校独自の項目だが、小中一貫教育に向けてという視点で、基本的には同じ項目で設定している。山梨スタンダードに合わせた項目を設定している

- ・学ぶ意欲を高めるためにも、将来どんな職業に就きたいか、何のために学ぶのかをどうとらえているかで、学ぶ意義が感じられるようにもなる。発達段階もあるのでどう生きるかという目標にもなるので設定があった方がいい。

→今後、項目については検討する。

- ・それぞれの家庭の考え方もあるので、数値には表れてこない部分もあるので、保護者同士も話をする機会をできるだけ設けていきたい。

- ・小中連絡通路及び学校設備の老朽化への対応についてはどうしていくか。

→連絡通路については、再度設計に入った段階で、当初の予定より遅れている。来年度の夏休み中には完成し、2学期からはしように見える見込みなので、連絡通路を活用して小中連携を図り、小中一貫教育を推進していきたい。老朽化が目立つ部分については、予算請求をしながら、対応している。連絡通路に合わせて補修される部分もある。

4. 分析・評価

- ・小中学校のアンケートの分析を同じ形式にすることで、小中学校の比較がしやすくなった。学校評価により、結果を改善に結びつけやすくなっている。来年度は研究体制も含め、さらなる連携を図ることになるので、小学校での評価結果も含め、結果は真摯に受け止めて、学校運営の工夫・改善に活かし教育活動の充実に努めていきたい。
- ・生徒、保護者の願いや地域の思いを受け止めて柔軟に対応していくことも必要なので、実態をふまえて学校運営をしていく。
- ・魅力ある学校として特色を生かした教育を推進するとともに、深い学びにつながる主体的・対話的な授業を実践していき、小規模校のメリットについては外部へも周知していきたい。
- ・「家庭学習」「家での読書・新聞の活用」について課題がある。学んでいることと「社会や生活との関連」を意識した授業づくりや「授業との有機的な結びつき」を意識した家庭学習の課題設定に努めたい。
- ・『芦安郷育』を推進していくためにも「小中一貫教育」は重要である。保護者、地域の多くの方々に支えられていること、行政機関との連携が必要であることを肝に銘じ、教育活動をさらに充実したものをしていきたい。